



- 県外からのアクセス
- 岡山から
 - JR岡山駅～伯備線(特急やくも)～JR生山駅下車で 約1時間30分
 - 自動車(岡山自動車道・中国自動車道・新見IC経由)で 約1時間50分
 - 大阪から
 - JR大阪駅～山陽新幹線・伯備線(特急やくも)～JR生山駅下車で約2時間50分
 - 自動車(中国自動車道・新見IC経由)で 約3時間20分
- 県内からのアクセス
- JR米子駅から
 - JR伯備線(普通電車)で約60分 ●自動車で約50分



日南町国民健康保険

日南病院

TEL:0859-82-1235(代表)

〒689-5211 鳥取県日野郡日南町生山511-7 FAX:0859-82-1341

E-mail s4100@town.nichinan.tottori.jp

<https://nichinan-hospital.jp>



WEBはこちら



日南町オリジナルキャラクター
オンサンショウオ

SNSでも情報を更新中!



「地域医療」が
私たちの職場です。

“町は大きなホスピタル”

自宅は病院のベッド、
道路は病院の廊下、
電話はナースコール



日南町国民健康保険

日南病院



町は大きなホスピタル

自宅は病院のベッド、道路は病院の廊下、電話はナースコール。

人口の減少、そして50%以上が65歳以上、
日南町および日南病院はこの状況を想定し、
医療・看護を維持する体制をつくり続けています。

地域の特性からフルセットのサービスメニューを配置することはできませんが、入院病棟で救急医療から慢性期医療までをフォローし、多職種連携による在宅医療を提供することで、ワンストップの在宅支援体制を構築しています。毎週月曜日の夕方には、日南町内の医療・介護・福祉の専門スタッフが集い、個別ケースの実状を共有して適切な支援策を皆で考えています。



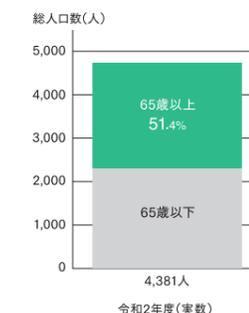
日南病院在宅系サービスの1日あたりの利用者数

1日50~60kmの移動距離、多いときには120kmも走る往診車には、緊急時に対応できるようストレッチャーが装備されています。県境、町境を越えることや、途中携帯電話に臨時往診が入ることも。家にあがられるのを嫌がっていた患者さんが、訪問を心待ちするようになり、往診の医師は、迎えてくれる患者さんの笑顔が嬉しいといえます。自宅は病院のベッド、道路は病院の廊下、電話はナースコール。住民の在宅生活を支えるために、病院の専門スタッフが医療・介護の複数のサービスを用意して、毎日、町の道路を歩きかいます。



日南町の年齢別人口比率と総人口数

人口の50%が65歳以上、10年後にはさらに人口が72%に減少し、65歳以上の人口比率は55%を越える予想になっています。つまりは医療従事者の高齢化、介護職員の高齢化も同時に起こる可能性があります。包括的な医療制度の構築・進化はもちろんですが、次世代の医療・看護・介護従事者の育成に力を入れています。その一環として働きやすい、生活しやすい福利厚生制度の充実をはかり、移住による医療従事者の募集も町役場と共に支援しています。



- P.2 日南町の医療の特色
- P.3 病院長あいさつ・病院概要
- P.5 診療部
- P.6 医療技術部
- 部署紹介
- P.8 事務部
- P.9 看護部
- P.11 地域医療の仕組み
- P.12 巡回診療
- P.13 訪問診療・訪問看護・訪問リハ
- P.15 スタッフインタビュー
- P.17 働く環境・支援制度
- P.18 地域と共に





基本テーマ

地域住民の健康維持・増進を図り、地域の発展に貢献するとともに、
 地域住民、医療・保健・福祉の関係者、行政のトップと一体となって、
 生活自立障害を持った住民を総力を挙げて地域で支えることを使命とします。



病院長
浜田 紀宏
はまだ としひろ

病院長 あいさつ

鳥取県日南町は、自然に恵まれた中山間地に位置していますが、何よりもその人々の温かさが際立つ町です。近隣の米子市や南部町からのアクセスも良好で、通勤や子育てに困ることはありません。

日南病院では、医師だけでなくさまざまな職種スタッフとも同じ目線で対話し、笑顔で働ける環境を大切にしています。当院はスタッフ同士が支え合い、学び合う、家族のような職場です。

「まちは大きなホスピタル」という理念のもと、私たちは1984年から国内に先駆けて訪問看護を開始しました。そのころから病院、行政、サービス事業者などが患者さんに関する情報交換する場を設け、今も「在宅支援会議」などで定期的に顔合わせを行っています。このような病棟・外来・在宅・地域を一本の線で展開する先進的な地域医療を通じて、看護の本質である「患者さんやその家族が未永く自分らしく生活できるよう支援すること」の大切さを、実践を通じて学ぶことができます。例えば、行政と連携して介護予防や出前講座など直接地域に出かけてまちづくりに参画したり、院内で独自プロジェクトを立ち上げてアドバンス・ケア・プランニング(人生会議;ACP)などの活動をしている先輩看護師もいます。

地域や現場で住民さんや患者さんにとって必要な医療は何かを考え実践する経験は、都市部に行ってもどこに行っても活かせる貴重なものとなるでしょう。

日南病院には是非見学にいらしてください。あなたの目で地域医療の魅力を確かめてみてください。そして、私たちと一緒に患者さんの笑顔を増やしていきましょう！

[病院概要]

● 概要	名称 日南町国民健康保険 日南病院 所在地 〒689-5211 鳥取県日野郡日南町生山511-7 TEL 0859-82-1235 / FAX 0859-82-1341 開設年月日 昭和37年4月1日 開設者 日南町長 中村 英明 役員 ●事業管理者:福家 寿樹 ●病院長:浜田 紀宏 ●看護部長:日下 美恵子 ●事務部次長:北垣 祐輔 病床数 ●一般病床 / 59床 ●療養病床 / 40床 ※療養では介護保険のショートステイをお受けいたします。
------	--

● 診療科	●内科 ●眼科(水・金曜日) ●外科 ●耳鼻咽喉科(木曜日) ●小児科(月・木曜日) ●皮膚科(火曜日) ●整形外科(金曜日) ●リハビリテーション科
-------	--

● 居宅介護サービス	●訪問看護・居宅療養管理指導 ●居宅介護支援(ケアプラン)・短期入所療養介護
------------	---

● 休診日	●土・日・祝日及び 8月14日、15日、12月29日～31日、1月2日、3日
-------	---

● 施設概要	建物の構造及び面積 ●本館(診療及び一般病棟):鉄筋コンクリート造4F 延べ床面積 5,231.9㎡ ●新館(療養病棟):鉄筋コンクリート一部鉄骨造3F 延べ床面積 1,474.02㎡ (2F・3Fのみ)
--------	--



[基本方針]

地域医療の確保	日南病院は、住民のニーズに対応した適正な医療を地域に提供します。
医療水準の向上	日南病院は、先駆的な地域医療を行い、地域の医療水準の向上に努めます。
患者様中心の医療の確立	日南病院は、患者様と医療スタッフがよく話し合い、患者様が最良の医療を受けられることを目指します。
安全管理の徹底	日南病院は、安心して医療を受けられる環境を整備し、職員への安全教育を推進します。
健全経営の確保	日南病院は、公共性を確保するとともに、健全で自立した経営基盤を確立します。

[職員の職業倫理]

住民への約束	住民の方を向いた、住民のための職務を行い、住民全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を遂行し、決して住民の利益を損なわないことを誓います。
病院への約束	住民の病院への信頼を傷つけないように職務を遂行することを誓います。
同僚への約束	同僚と良い人間関係を持ち、組織の能力が最大限に発揮されるように努めることを誓います。
奉仕の精神	患者様の人格と価値観を尊重して職務を遂行し、奉仕の精神で信頼を得るように努めます。
守秘義務	患者様のプライバシーを尊重し、職務上の守秘義務を厳守することを誓います。

[受賞歴]

平成4年5月20日	自治体立優良病院自治大臣表彰
平成15年5月22日	自治体立優良病院総務大臣表彰
平成16年9月9日	救急医療功労 厚生労働大臣表彰
平成19年4月9日	地域医療功績 鳥取県知事表彰

[認定]

- 臨床研修協力施設
平成16年度から始まった「新医師臨床研修制度」に基づき、新人医師の臨床研修を行うための臨床研修病院に協力する施設として認定されています。当院では研修科目として「地域保健・医療」を担当しています。
- 鳥取県禁煙施設認定
健康増進法の規定に基づく「鳥取県禁煙・完全分煙施設認定制度」に定める「禁煙施設」として認定されています。病院施設内を完全禁煙としています。
- 地域包括医療・ケア認定
平成24年08月31日(初回認定平成19年08月31日)
国保直営診療施設、自治体立病院として「地域包括医療・ケア」を実践・研究し、新医師臨床研修制度に積極的に取り組むと共に、国民の理解を深め普及推進を図ると共に地域住民が安心して相談、利用できる体制の充実に取り組む施設としての認定です。

[施設指定]

- ◎ 生活保護法による介護機関指定(介護療養型医療施設)
- ◎ 生活保護法による介護機関指定(居宅介護支援事業)
- ◎ 指定介護療養型医療施設
- ◎ 指定居宅介護支援事業者
- ◎ 指定介護居宅サービス事業者
- ◎ 保険医療機関指定
- ◎ 生活保護法による介護機関指定(介護予防短期入所療養介護)
- ◎ 指定自立支援医療機関(精神通院医療)
- ◎ へき地医療拠点病院



内科

内科では急病から慢性疾患まで、一般内科を幅広く診療しています。山間地では高齢化率も高く、病院までなかなか通院できない患者さんも多く、往診・訪問診療など出かける医療にも力を入れています。患者さんに対しては、自分の家族であればこうしてあげたいという考えを基本にして、実際に患者さんご本人や、家族と話し合いながら、ご希望に沿えるよう全力で治療を行っています。

外科

小さな病院の小さな外科ですが、手、足の打ち身、切り傷から、事故、手術まで、何でも診ます、治します。鳥取大学第1外科、整形外科からの応援をいただき、外科、整形外科全般の診療をいたします。日南病院に来て良かったと思っただけのような暖かい診療を心がけております。

皮膚科

アレルギーテスト、皮膚生検、液体窒素によりいぼの凍結療法、褥瘡治療など随時行っています。専門的な検査や治療が必要な場合は随時、専門機関へ紹介いたします。当院の内科や外科とも連携しながら、患者さんへ最適な治療を提供いたします。うおめ、胞厚した爪など痛みを伴わず削ることができる機械があります。

鳥取大学医学部附属病院との連携

下記診療科は鳥取大学医学部附属病院の医師の来院により診察を実施しています。

●整形外科【週1回】

鳥取大学病院整形外科の協力を得て週1回、小児から高齢者まで幅広く、各種の運動器の救急外傷(脱臼、骨折、捻挫などの怪我)、肩こり、腰痛など脊椎、脊髄の治療や膝、股関節の治療、スポーツによる障害、関節リウマチなどあらゆる診療を行っています。治療のために必要な検査(MRIなど)や専門分野での治療が必要な場合には鳥取大学病院をはじめ近隣の病院への紹介をするなど、望まれる医療の提供をおこないます。

●小児科【週2回】

小児科は子供が病気になっても家族が安心して治療できるお手伝いをします。小児科を受診されるお子さんが自分の子であつたらんのように対応するべきかという心構えで診療に取り組んでいます。また、大学医学部小児科との連携を大切に専門外来(心臓外来と血液外来)を行っています。

●糖尿病外来

医師、糖尿病療養指導士、他コメディカルスタッフとチームを組み、治療について、生活環境についての見直しなどきめ細やかな指導、アドバイスをしています。患者さんの気持ちを大切に傾聴し、寄り添う気持ちを大事にした看護、ケアを目指し取り組んでいます。糖尿病で受診を希望される方、お困りの方は、適宜相談にも応じていますので、お気軽に声をかけてください。糖尿病医療チームが、糖尿病の皆さんを全力でサポートします。

●耳鼻咽喉科【週1回】

耳鼻科の領域はとても範囲が広く、様々な疾患があります。補聴器相談も月2回おこなっています。

●眼科【週2回】

小児の目の相談、弱視検査と眼鏡処方・指導、糖尿病や高血圧や動脈硬化の眼底検査を行います。

薬剤科



薬剤科では、適正な薬物療法を支援するために、医薬品の管理、供給、情報提供および、患者さんへの服薬指導を行っています。患者さんが安心して、正しくお薬を使っただけように一人一人に合わせた調剤、説明を心がけています。

昨今、ポリファーマシー(必要以上の医薬品を使用している状態)が問題視されていますが、当院でも医師と協議し、できるだけ少ない薬剤、服用回数での治療を目指しています。また、残薬、持参薬を積極的に使用することで、患者さんの服用状況を把握でき、患者さんの費用負担軽減や医療費の抑制に貢献できると考えています。

放射線科



患者さんに安心して検査を受けていただけるよう他のスタッフと連携を行い、病気の早期発見、早期治療に役立つ正確な画像情報を提供するとともに、迅速かつ親身な対応で接遇することを心掛けています。スタッフは診療放射線技師2名です。

【主な業務】

- 一般撮影
- CT撮影
- 病棟ポータブル撮影
- X線TV透視検査



●調剤

外来や入院患者さんが服用、注射するお薬を医師の処方箋に従って取りそろえたり、調合したりしています。このとき患者さんの検査値、飲み合わせなどをチェックし、疑問があれば医師に処方を変更してもらうこともあります。

●薬剤管理指導

入院されている患者さんの既往歴、持参薬、副作用・アレルギー歴などを確認した上で、お薬の飲み方や薬効・副作用などを説明したりして、治療がうまくいくように手助けしています。また、各職種が得た患者さんの状態を共有し、治療方針を検討しています。

●医薬品管理

SPD(医薬品の供給管理システム)によって、お薬の期限や在庫の管理を行っています。院内に配置してある医薬品すべてに責任をもって管理しています。

●医薬品情報管理

医薬品情報室で、薬に関する様々なデータを収集整理し、院内のスタッフに提供しています。薬に関する問い合わせに素早く対応できるよう心がけています。

●チーム医療

医療安全、感染防止、褥瘡予防、栄養管理、糖尿病治療、認知症対策など様々な職種で構成されるチームに所属し、専門的な立場でより良い医療を検討しています。また、カンファレンスでは患者さんの状態を各職種が共有し、患者さんそれぞれに合った治療方針を検討しています。

検査科



「全ては患者さんのために」なるように、毎日の業務はもちろん、機種選定も行っています。できるだけ早くデータを報告し、異常があればすぐ医師に連絡しています。また学会や勉強会等も積極的に参加し、日進月歩に遅れないよう日々精進しています。

栄養管理科



栄養管理科は、患者さんに適した食事の提供を行っています。一口サイズに刻んだり、飲み込みやすい形にしたりと様々な対応をしています。適切な食事を支援するために、栄養指導も行っており、患者さん一人一人に合った支援が出来るように心がけています。糖尿病チームに所属し、「健康教室」を通じて疾患の予防や健康増進にも取り組んでいます。

リハビリテーション科



私たちリハビリテーション科では、ご病気を発症された直後から退院されて日常生活に戻られた後まで様々な療法で生活障害に直面されている方を支援してまいります。入院、療養病棟入所、外来、訪問リハビリの手段を用いて、最後まで責任持って担当させていただきます。また、安心した満足度の高い地域での生活を支援するため病院、行政、介護と連携をとり地域全体のリハビリテーションに貢献していきます。

- 超音波
- 頸椎牽引
- 低周波
- マイクロ波
- ホットパック
- 水圧マッサージ機
- 赤外線レーザー
- 過流浴
- 腰椎牽引
- パラフィン浴



外来リハビリ

原則、平日午前中のみですが、仕事や学校の関係で困難な方は予約制で午後もできますので、お気軽にご相談ください。

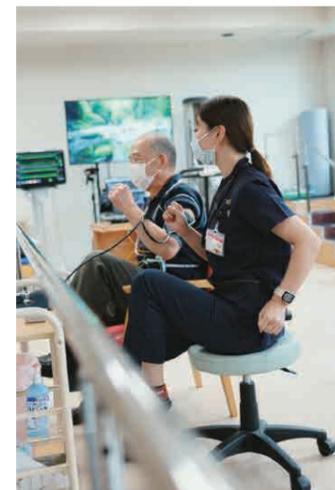
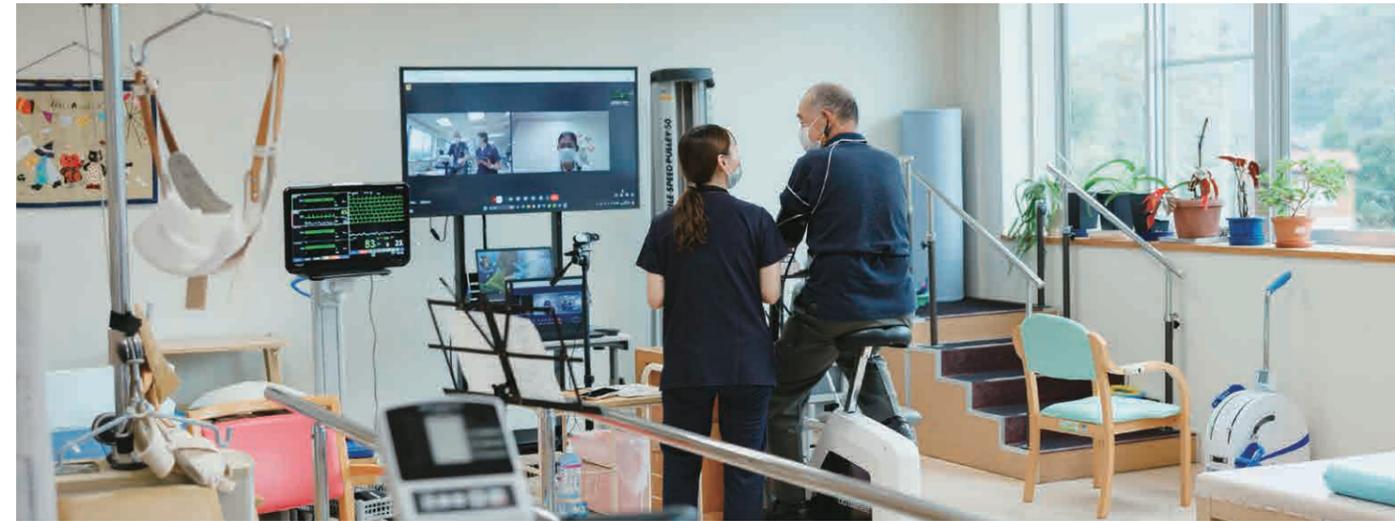
入院リハビリ

必要に応じて家屋訪問を行い、手すりの設置や福祉用具のレンタルなどお手伝いさせていただき、住み慣れた自宅のできる限り生活できるように退院支援しています。



無料訪問相談 (1回のみ)【月曜日～金曜日 随時】

障害のこと、住宅環境のこと、福祉用具のことなどお困りのことがあれば、1件につき1回のみですが、町立病院として無料で訪問相談していますので、お気軽にご相談ください。当院の訪問リハビリテーション(以下訪問リハと略)は、今まで行っていた活動(例えば家事や畑作業、趣味活動等)が病気や障害で上手くできない場合、療法士がご自宅にお伺いしてご本人・ご家族(必要なら地域の方)と一緒にうまくいく方法を考えお手伝いするサービスです。



通所リハビリ

当院の通所リハビリテーション(以下通所リハと略)は、可能な限り自立した生活を送れることを目的として、日常生活に関わる動作の維持・向上を目指します。リハビリは理学療法士や作業療法士、言語聴覚士の専門職が医師の指示に基づいた指導を行います。当院、通所リハのサービスとして利用する季節や時間によってレクリエーションや外出支援(花見や紅葉巡り)なども行っています。

【主な内容】

- 個別リハビリテーション(運動療法、物理療法等)
- 送迎
- リハビリ前の健康チェック
- 初回、3ヶ月おきの運動機能評価
- 自主トレーニングの指導、アドバイス
- 外出の支援(花見・紅葉巡り、買い物)
- 在宅改修や福祉用具、補装具等のアドバイス

部署紹介 | 事務部



医事課

医事課では、「笑顔」で「お待たせしない」対応を心掛けています。快適かつ円滑に診療を受けていただけるよう、日々努めております。



総務課

総務課では、幅広い院内業務を迅速に処理できるよう心掛け、「健全経営の堅持」を最大目標としています。

院内施設設備の紹介

診療環境を快適に! 様々な設備をご準備。



自動再来受付機



自動精算機



呼出モニター



受付



休憩所



売店

自宅は病院のベッド、道路は病院の廊下、電話はナースコール

往診・
訪問看護

「地域医療」が 私たちの職場です。

訪問
リハビリ

地域医療の仕組み

『町は大きなホスピタル』というコンセプトのもと、
地域住民の健康維持・増進・発展のために保健・医療・介護・福祉・行政が一体となり、
生活自立障害を持った住民を支える事が使命です。

『高齢になっても自宅で暮らすことが出来る』ことを目指し、

在宅支援会議と地域包括ケア会議が中心になり包括的かつ継続的な生活支援を行っています。



地域連携室



患者さんや利用者さんに、日南病院を常に
選びたい、選んでよかったと思っただけ
のよう心をこめて対応していきます。町内
の介護・福祉の事業所と地域包括支援セ
ンター、日南病院の医師及び医療スタッ
フがメンバーとなっている『在宅支援会
議』に出席し、情報交換や共有と連携を
図っており、医療・介護に対する迅速な
対応を目指しております。

ご相談窓口

- 患者さんの入退院における連携、病診連携、病介連携の調整
- 院内の各部署との調整
- 地域包括ケアシステムの対応（介護施設、行政機関など）
- 院内外における研修会、協議会等の開催

在宅患者さん



居宅介護支援事務所



現在、主任介護支援専門員（専任1名、兼務1名）が担当しています。医療機関と言うことで医療依存度の高い人を担当することが多いのが特徴です。日南町包括支援センターが中心になって、福祉保健課、サービス提供事業所、日南病院職員で行っている在宅支援会議には日南病院から医師、看護師、リハビリ専門職と共に参加し、情報の共有に努めています。住み慣れた日南町で暮らして良かったと思っただけよう熱意と笑顔で頑張っています。

在宅支援会議



毎週月曜日（年52回）に開催。要援護高齢者の情報交換・課題を検討して支援を行います。

- 介護サービス・医療サービスを利用しながら在宅生活の継続の支援や検討、連絡調整
- 退院支援
- 困難な支援事例の検討など

日南病院

- 医師
- 介護支援専門員
- 病棟看護師
- 地域連携室
- 外来・訪問看護師
- 薬剤師
- リハビリテーション科（PT・OT・ST）

日南福祉会

- デイサービス
- ヘルパー事業所
- 特養ショートステイ相談員
- ケアプランセンター

日南薬局

- 薬剤師

日南町福祉保健課 地域包括支援センター

- 介護支援専門員
- 保健師
- 社会福祉士
- 管理栄養士

「訪問」すること、過疎地の医療を守ること。

日南病院は在宅支援会議と情報を共有しながら1日平均8名の患者さんのご自宅に伺い、
医師・看護師・理学療法士が患者さんの生活環境に合わせて、治療とリハビリを行います。



巡回診療

無医地区に指定をされた
上萩山地区で
毎月1回巡回診療を開所
毎月第3水曜日

無医地区に指定をされた上萩山地区で巡回診療を行っています。医療機関まで車で30分かかるため通院の負担も大きい地区です。医師、看護師、リハビリ専門職、医療事務、売店等の様々なスタッフで出向くことによって医療を提供しています。高血圧症等の慢性疾患の管理や腰や肩の痛み、水虫等の皮膚・爪のトラブルなど様々な問題に対応をできるような体制づくりをしています。予防接種や健康教室、体操教室も行っており予防活動・健康増進活動にも力を入れています。

[主な巡回診療の内容]

- 初診、定期受診（定期薬の処方を含む）
- 予防注射
- 健康相談
- トリガーポイント注射
- 皮膚、爪処置
- 健康教室・体操教室
- リハビリ専門職によるアドバイス
- 売店





日南病院では医師・看護師が患者さんの家、施設を定期的に訪問し、診察や薬の処方、血液検査、処置などを行っています。“病気があっても慣れ親しんだ家、地域で過ごしたい。でも月1回の定期受診に通うことが難しくなってきた。”などの相談を受けた場合、医師・看護師が専用の往診車に乗り込み、毎日(平日)計画的に患者さんの家を訪問し、切れ目の無い医療を届けています。

訪問診療(医師)

1日平均8名、多い日には16名の患者さんのご自宅に伺い、診察・治療を行います。

- [内科] 毎週 月曜日～金曜日
- [外科] 毎週 水曜日



訪問看護(外来看護師)

「町は大きなホスピタル」という院是のもと、在宅ケアを望む患者さんの療養生活を支えます。

- 毎週 月曜日～金曜日の午後から

開始当時(昭和59年4月)から保健師、ヘルパーと連携を取りながら長期入院を減らしてきました。それは介護保険が始まってからも同じです。患者さんの生活に寄り添う看護。「安心」「安全」「安楽」のトリプルAを一緒に届けに行きませんか?

[主な訪問看護内容]

- バルンカテーテルの交換
- 療養上の相談
- 褥創(床ずれ)管理
- 在宅での看取り
- 栄養管理



訪問リハビリテーション

生活機能障害のある方のご自宅に訪問し、その方の活動にあった生活リハビリを行います。 ● 毎週 月曜日～金曜日



[主な訪問リハビリテーションの内容]

訪問リハビリテーションでは、生活機能障害のある方のご自宅に訪問して、その方の生き難さに対して、ご本人やその周りの方々と一緒に解決に向けた取り組みを行うサービスです。体の痛みや筋力低下への手当はもちろん、その方が行いたい活動やその先にある様々な場面への参加も意識して生き易い地域づくりに貢献します。

- 歩行・食事・トイレ・入浴などの日常生活動作の練習
- 調理・洗濯・掃除などの家事動作練習
- 自主トレーニングの指導・アドバイス
- 外出の練習(交通機関の利用、買い物や屋外の趣味活動も含む)
- 介護方法の検討・アドバイス
- 住宅改修(手すり・段差の解消)や福祉用具、補装具等のアドバイス
- 農作業など役割活動練習
- 生活上の困難に対するアプローチ

私たちと一緒に 地域医療・介護を守っていきませんか？

「町は大きなホスピタル」という理念のもと、医療や介護に従事しているスタッフに
日南病院だから出来る医療や体験、働きやすさ、やりがいについてお話を聞きました。



外来・訪問看護師 **西田 翔**
※令和6年現在：一般病棟勤務

【出身地】福岡県北九州市出身
鳥根大学医学部附属病院の救急とICUで6年間の勤務後、日南病院に就職。現在は医療
以外でも住民に寄り添えるサービスの提供を目指した『だんだんナース』を起業し、日南
病院でも看護業務を続ける。

Q.日南病院に就職された理由を教えてください。

大学病院の救急やICUでは、ひとりの患者さんと向き合い、その患者さんにとって最適な
看護を考え続けることが仕事でした。その中で患者さんが、どのような暮らしをされていた
のか、どのような生き方を望んでいたのかを想像するようになり、『もっと住民の暮らしに
寄り添える看護を目指したい』という気持ちが芽生え、訪問看護や往診を中心とした医療
を提供している日南病院への就職を決めました。

Q.日南病院で働いて良かったことは何ですか？

私は人との繋がりを一番大切にしていますので、日々のちょっとした出来事など、訪問した
先の患者さんとコミュニケーションがとれることです。職場環境の面では、私たちの意見を
とても大事にしてくれますので、現場で感じたことや改善点等があれば、みんなで共有し、
より良く改善していく柔軟性があります。例えば、自分が大学病院で培った救急医療のノ
ウハウを日南病院でも採り入れようと、今は研修も行っています。顔が見える関係の中で
病院運営が行われているので、とてもやりやすさを感じています。



介護福祉士(主任) **頭本 好一**

【出身地】鳥取県日野町出身
日野町社会福祉協議会が運営するデイサービス施設と
江府町の介護老人保健施設に20年勤務後、2018年に日南病院に就職。

Q.日南病院に就職された理由、良いところを教えてください。

日南病院は自治体病院で介護福祉士を正社員で採用している数少ない病院です。現在は
正社員7名、会計年度職員4名の合計11名で勤務しています。業務の面では、病院施設内
に療養病棟があるので、患者さんの体調の急変などにも迅速に対応出来るのが最大の
メリットです。暮らしの面でも福利厚生がしっかりしているので、安心して勤務が出来ます
し、年間休日も130日近くありますので、家族との時間もしっかりとれ、リフレッシュするこ
とで集中して患者さんと向き合えることが、とても働きやすいと感じています。

Q.仕事のやりがいや今後の目標を教えてください。

やりがいは自分がしたことで患者さんの笑顔が見られること、逆に自分の言動がきっかけ
で悪い方向に向かうことも十分にあり得るので、全ての言動に責任を感じながら介護して
います。また、常にそのやりがい・責任感・喜びをチームで共有し、施設全体のものとして繋
げ続けることが目標です。そのために、もっとチームが成長出来るよう、繋がりや和が広が
るように、しっかりとした新人教育制度をつくっていきたくて考えています。



一般病棟看護師 **宗藤 優子**

【出身地】鳥取県倉吉市出身
鳥取看護大学を卒業後、日南病院に就職。3年目を迎える若手看護師。

Q.看護師の教育制度について教えてください。

日南病院はプリセプター教育制度を取り入れており、経験豊富な先輩と新人看護師がマ
ンツーマンで基本的な看護技術や疾患、治療に関する知識を教えてください。日勤・準
夜勤・夜勤勤務において自分が何をしないといけないかを教えてください。また看護部の
『新人さんを看護部全体で育てていく』という理念のもと、他の先輩方もよく声をかけてく
れ、気にかけてくれます。プリセプター教育制度では1年間の教育スケジュールが事細かに
組まれることで、目標が明確になり、実施・評価を行うことで、自分の今の成長度合いや、
これから目指すべきことが明確になるので、迷わずに看護と向き合える環境です。

Q.日南病院だから経験できることを教えてください。

退院時カンファレンスは大きな病院だと専門の退院調整看護師がいますが、日南病院で
は担当看護師が行います。医療ソーシャルワーカーさんや医師、ケア包括マネージャーさ
んと連携して退院の準備を進めます。担当できることで社会支援の知識も習得できま
すし、コミュニケーション能力も養っています。最初はプレッシャーでしたが今は良い経験
をしていると思います。日南病院だからこそ、看護だけではなく、様々な知識や経験を積め
ているのだと思います。



外来・訪問看護師 **影山 佳菜**

【出身地】鳥取県日南町出身
米子北高等学校看護科を卒業後、日南病院に就職。
2人のお子さんのいるお母さん看護師。

Q.日南病院に就職された理由を教えてください。

私の母も日南病院の看護師でしたし、看護学校も日南病院の奨学金を利用して卒業しま
したので、日南病院で看護師になるのは自然な流れでした。

Q.日南病院の育児サポートについて教えてください。

私は就職1年目に第1子を妊娠しましたが、1年目から育児・産休を所得できたのは嬉し
かったです。また子供が1歳になるまでは、時短勤務の制度を利用してさせてもらって仕事
を続けられました。現在も夜勤免除と子守の都合がつかないため、土曜日出勤の免除もし
ていただいています。子育て経験のあるベテラン看護師さんがたくさんいらっしゃるの
で、休憩時間に子育ての相談が出来るのが本当に心強く、子供の急な発熱で勤務交代を願
いした時も、師長さんに「仕事の変わりは出来るけど、お母ちゃんの代わりはできんけん」
といってもらえたのがとても嬉しかったし、心にしみました。日南病院はとても相談がしや
すい雰囲気、それぞれの暮らしに配慮してもらえるので、本当に働きやすいですし、看護
師を続けられる環境や制度をつくってもらえていることに感謝をしています。



薬剤師 **橋本 優子**

【出身地】兵庫県神戸市出身
神戸市の専門病院で薬剤師として勤務。その後、日南町に1ターンス日南病院に就職。

Q.日南病院に就職された理由を教えてください。

ずっと神戸市で暮らしていましたが、阪神淡路大震災を経験し、その後、東日本震災が
起こったのをきっかけに都市での生活に限界を感じて移住することを決めました。知人
が暮らしている広島県庄原市にまずお試し移住し、やはり田舎での暮らしが自分たちには
あっていることを確信しました。そこで改めて定住先を考えました。やはり仕事は大事です
ので、様々な病院を調べる中で、日南病院の「町は大きなホスピタル」という言葉に惹かれ
る部分があり、日南町への移住や日南病院への就職を考えました。その後、相談していた
日南町役場の方々の手厚いサポートや日南病院へのご縁もあり、2017年に移住しました。

Q.日南病院の良さを教えてください。

日南病院では専門的な一つの業務だけをずっとやり続けるのではなく、委員会に関わつ
たり、病院外で講座を開いたり等、様々な活動に参加するのがごく普通のことになっていま
す。ただ、それに大変さは感じておらず、むしろ住民との距離が近くに感じられますし、い
ろんなことに興味をもってやってみたい! 経験を積みたい! という方には、病院内外に活躍
できる場がたくさんあることがとても良いところだと思っています。

福利厚生・就職支度金・資格取得資金貸与制度について

福利厚生

【休暇制度】

- 年次有給休暇 4月入職で15日付与されます。翌年1月に20日付与され、20日を限度として翌年に繰り越すことができます。
- 病気休暇
- 特別休暇
 - 夏期休暇/3日
 - 結婚休暇/6日以内
 - 産前休暇/規定による
 - 産後休暇/規定による
 - 妻の出産/2日
 - 子の看護休暇/規定による
 - 忌引休暇/配偶者10日・父母7日・子5日
祖父母及び兄弟姉妹3日、孫及び伯叔父母1日
 - リフレッシュ休暇/勤続10年以降で5年毎に連続する5日間
 - 年末年始・お盆/12月29日～1月3日
8月14日～15日(交代勤務者を除く)
- 介護休暇 無給

【各種手当金】

扶養手当、通勤手当、住宅手当、超過勤務手当、期末・勤勉手当、宿日直手当、特殊勤務手当、管理職手当

【短期給付金】

鳥取県市町村共済組合に加入、各種制度の利用により給付

【福祉事業】

共済組合の保健事業の利用により、人間ドッグや健診の受診、各種制度を利用

【貯蓄】 共済の定期積立の活用など

【貸付】 共済の住宅貸付や入学貸付など

【職員住宅】 職員が働きやすい環境づくりを大切にしています。



薬剤師・看護師の就職支度金

就職支度金 100万円

日南病院に就職内定すると100万円を貸与します。引越し費用や自家用車購入の一部に充てたり、さらなるスキルアップの費用にしたり、使い方は自由です

【ご利用条件】

- 薬剤師又は看護師として日南病院に内定した方
※次に該当する方は対象外です。
- ・55歳以上の方
 - ・過去に支度金を受けたことのある方
 - ・過去に日南病院職員資格取得資金の貸与を受けた方
 - ・過去に日南病院職員として勤務していた方
 - ・鳥取県西部管内の医療機関を3ヶ月以内に退職した方

【返還免除】

日南病院に5年間勤務した方

日南病院職員資格取得資金貸与制度

【対象職種等】

看護師、卒業後日南病院で勤務する意思を有すること。

【貸付金額】

上限年60万円(年ごとに一括交付)

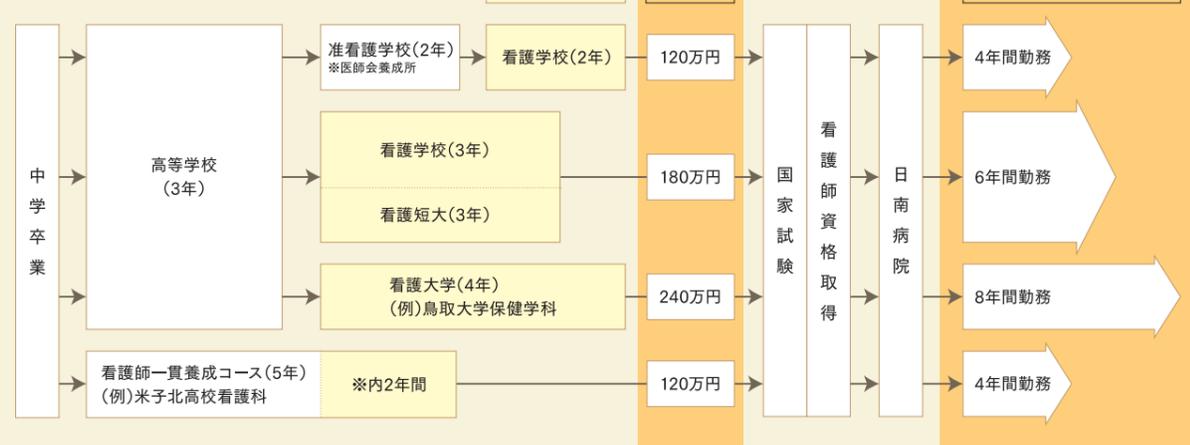
【貸付決定】

病院看護師採用計画に基づき審査・決定させていただきます。

●返還及び返還の免除について

返還期間は、貸付期間の2倍。資格取得し直ちに日南病院で勤務すれば返済を猶予し、日南病院での勤務年数に応じて返還額を免除する。
※減額額等積算基礎=1年当たり30万円(貸付総額/返済期間)
※返還例:1年間勤務後、日南病院を退職した場合、2年目から3年以内に90万円を返還する。

【日南病院職員資格取得資金貸与制度の利用例】



私たちは様々な活動を通じて 顔が見える医療を目指します。

高齢になっても自宅で暮らすことが出来るように、在宅支援会議、地域包括ケア会議などを通じて、

日南町に医療・介護を維持できる環境づくりに尽力しています。

また町民座談会や巡回訪問支援、出前講座等を開催し、住民と医療の距離を近づける活動を行っています。



町民座談会

各まち(むら)づくり協議会のご協力のもと、町民・患者さん目線での業務改善をするため、住民さんに正しい情報を得てもらうため等、直接町民が病院づくりに参画することで、よりよい病院を目指していくために開催しています。厳しいご意見もいただきますが、毎回沢山の応援メッセージをいただき、職員の励みにもなっています。



巡回訪問支援

(保育園訪問)

巡回訪問支援について日南町の母子保健事業の中の地域療育相談支援事業に参画する形で平成30年度より園や担任が気になるお子さんを対象にリハビリの職員と町の保健師が近隣の保育園を訪問し、感覚統合療法に基づいた運動や遊びの提案、アドバイス等を行っています。当院では子供から高齢者まで幅広いニーズに対応、支援できる体制をとっています。



出前講座

日南町福祉保健課、町内の介護事業所と一緒に、出前講座を受け持っています。住民主体型サービスが町内50ヶ所(令和3年度)で開催されており、主にそこで講演しています。多彩なメニューを用意し、幅広い専門職種が出かけています。どちらかというと、講演後の意見交換が有意義で、外から病院を見つめなおすいい機会になっています。

(講座例)

- 病気について(担当:医師)
- 病院での検査について(担当:看護師・臨床検査技師)
- 飲み込みについて(担当:管理栄養士・理学療法士)